

# スキアスコピーだからできること

スキアスコピー（レチノスコピー）だからできること。

調節異常による眼精疲労や小児の仮性近視など、オートレフケラトメーターのみでは検出困難な調節・屈折異常の発見に役立ちます。また、瞳孔や中間透光体の観察、円錐角膜の早期発見などの副次的な情報も提供してくれます。

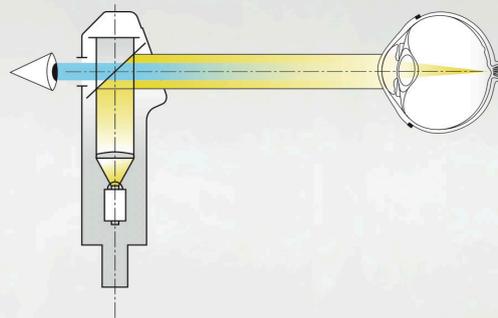


ベータ200ストリークレチノスコープには、屈折検査を快適に行うための様々な工夫が施されています。

標準で装備されているオレンジフィルターは、被検者の眩しさを軽減させる効果と共に検者には視認性に優れたクリアな網膜反射を提供する役目を果たします。また、特許を取得した「パラストップ」機能により、ワンタッチで正確な平行光線を得ることができます。

ハンドルの抜き挿しに応じて自動で電源をオン/オフする充電器は左右独立した充電機能を備え、過充電防止の安全設計です。連続使用時間とフル充電に要する時間は以下の通りです。

スリムハンドル	連続使用時間：約70分	フル充電：約3時間
スタンダードハンドル	連続使用時間：約3時間	フル充電：約2時間



## ● M-005.35.401

ベータ200ストリークレチノスコープ NT4/ベータ4スリム充電ハンドルセット 3.5V

セット構成：ベータ200ストリークレチノスコープヘッド +  
ベータ4スリム充電ハンドル + NT4充電器 スリムハンドル用 + 予備電球

¥ 198,600

## M-005.35.400

ベータ200ストリークレチノスコープ NT4/ベータ4スタンダード充電ハンドルセット 3.5V

セット構成：ベータ200ストリークレチノスコープヘッド +  
ベータ4スタンダード充電ハンドル + NT4充電器 + 予備電球

¥ 191,200

手軽に使用できる、コストパフォーマンスの高い製品です。

● M-001.83.501 アルファプラス ストリークレチノスコープ 2.5V ハードケース入り  
単3電池×2本使用、ハードケース入り

¥ 81,600



# オーバースキアとは

眼鏡・コンタクトレンズを装着したまま、あるいは検眼時のテストレンズ上から行うスキアスコピー（レチノスコピー）のことで、装着している度数が適切であるかを迅速に確認する方法です。コンタクトレンズの左右誤装用の発見や、眼鏡・CL処方時の最終確認に不可欠な技術です。



## ● M-0009 鈴木式オーバースキアレレンズ

¥ 24,000

スキアスコピーを迅速にマスターするために作られました。オーバースキアを行うことを前提にレンズが配列され、判定の意味も記載されているため、使いやすく理解しやすい製品となっています。

正矯正の確認のための白枠の+2.00Dのレンズを別に配置し0.25D刻みのレンズを配列しています。黄枠のレンズで中和した場合、あるいは青枠のレンズで中和した場合の意味が理解しやすいように、その間に、過矯正・低矯正に対応した度数を白字で記載しています。そのため正矯正であれば、左右に並んだレンズで同行と逆行の網膜反射が確認できます。

オーバースキアの基本はどの度数のレンズで中和しているかを確認するだけです。

中央に記載されている度数が過矯正・低矯正の度数を示します。レンズの上に記載されている小さな数字は実際のレンズ度数です。例えば、中和が黄色の+2.75Dであれば、0.75Dの近視過矯正あるいは遠視低矯正ということになります。眼鏡矯正の過矯正の確認では、黄色の部分のレンズしか使用しません。

光束は開散でも収束でも良いのですが、網膜反射は同行の方が見やすいので、黄色のレンズ部分で過矯正を確認するためには、収束をおすすめします。

眼鏡、コンタクトを装着してきた患者さんには必ずオーバースキアを試してみてください。沢山の過矯正を見つけるようになったらスキア技術は向上したといえます。



## ● M-0008

鈴木式ニューマルチ板付きレンズ

¥ 52,000

この板付きレンズは眼鏡矯正の際に必要な検査が一通りできるような機能を持っています。

微小斜視検査のためのプリズムと遮蔽板、そして複像検査の赤板ガラス。更に、装着眼鏡で近くが見えているかの近方視用の視標と交代遮閉ができる瞳孔間距離計です。測定は、直像鏡を覗きながら見える角膜反射の位置で行います。



## ● C-000.33.011

スキア/レチノスコブトレーナー

¥ 95,000

スキアスコピー練習用のモデルアイです。

乱視軸測定範囲 : 0~180°  
屈折異常設定範囲 : -7.0D~+6.0D 0.5D刻み  
瞳孔径 : 2, 3, 4, 5, 6, 8mm  
トライアルレンズホルダー : 2枚挿入

